

加太さかな線プロジェクト 二里ヶ浜駅にて地元小学生が 『めでたい壁画』を制作

南海電鉄（社長：遠北 光彦）では、加太観光協会および磯の浦観光協会と共同で「加太さかな線プロジェクト」を進め、観光列車「めでたいでんしゃ」を運行するなどして加太線沿線を盛り上げています。

このたび、同プロジェクトの一環として、二里ヶ浜駅の下りホームの壁面に、ペンキを使用した壁画を制作しました。

本壁画は、磯ノ浦駅前のゲストハウス「月と空」の支配人・伊藤 英夫氏の監修のもと、二里ヶ浜駅前の西脇小学校の全児童が「加太さかな線」「西脇小学校付近の自慢」というコンセプトでデザイン・制作しています。

地域をよく知る小学生が、一生懸命制作した『めでたい壁画』をぜひご覧ください。
詳細は別紙のとおりです。



二里ヶ浜駅下りホーム壁面



作業風景
(4年生によるロゴ描画)



作業風景
(2年生による下地塗り)

別紙

二里ヶ浜駅の『めでたい壁画』について

1. 完成日 2019年11月19日(火)
2. コンセプト 「加太さかな線」「西脇小学校付近の自慢」
3. 制作 西脇小学校の全児童
(全体監修 ゲストハウス「月と空」の支配人・伊藤 英夫氏)
＜担当＞ 養生、下地塗り 1～3年生
 ロゴ描画 4年生
 デザイン、描画 5、6年生



春 入学式と河西公園の桜(5年生)



夏 磯の浦のサーフィン(5年生)



秋 運動会と「めでたいでんしゃ」(6年生)



冬 射箭頭八幡神社の初詣(6年生)

4. 場所 下りホーム和歌山市方面のブロック塀 約1.2m(縦)×約12m(横)
壁面の両端に、「めでたいでんしゃ」と二里ヶ浜駅ご利益のロゴマークを
描き、残りのスペースを4等分し、上記の4つのデザインを描いています。

以上